

会 議 録	
会議の名称	令和元年度第4回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和2年3月19日(木) 午後2時から午後3時
開催場所	清須市役所北館2階 第1・第2会議室
議題	1 開会 2 議事 〔報告事項〕 レンタサイクル事業の実施状況について 〔協議事項〕 (1) 清須市地域公共交通計画(案)について (2) 令和2年度コミュニティバスの利用促進施策 実施計画(案)について (3) 令和2年度清須市地域公共交通会議スケジュール (案)について 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 〔会議資料〕 資料1 レンタサイクル事業の実施状況 資料2 清須市地域公共交通計画策定のながれ 資料3 第3回清須市地域公共交通会議からの主な変更 点について 資料4 パブリック・コメントの実施結果 資料5 清須市地域公共交通計画(案) 資料6 清須市地域公共交通計画の概要(案) 資料7 令和2年度コミュニティバスの利用促進施策 実施計画(案) 資料8 令和2年度清須市地域公共交通会議スケ ジュール(案) 参考資料1 令和元年度地域公共交通確保維持改善事 業の二次評価について 参考資料2 新型コロナウイルス感染症への対応につ いて
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴を中止としました。
出席委員	前田委員、山田委員、林委員、後藤委員、加藤(榮)委員、鬼頭委員、加藤(博)委員、上井委員、渡邊委員(代理)、小川委員、多田委員、小林委員(代理)、大島委員、毛利委員、宮崎委員、長谷川委員
欠席委員	佐藤委員、安井委員
出席者(市)	なし

事務局	(企画政策課) 後藤課長、河村副主幹、石附主査、次森主事
会議録署名委員	加藤委員、鬼頭委員
<p><b>1 開会</b></p> <p>(後藤企画政策課長) ただ今から、令和元年度第4回清須市地域公共交通会議を開会します。私は、企画政策課長の後藤です。よろしくお願いいたします。 それでは、開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと存じます。 前田会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>(前田会長) 皆様、こんにちは。 本日は、大変お忙しい中、令和元年度第4回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。 また、日頃、皆様には本会議の運営等に多大なご理解とご協力をいただいております。あらためて、お礼を申し上げます。 さて、本日は、これまで協議を重ねてまいりました「清須市地域公共交通計画」の策定に係る最後の会議となります。 皆様、どうぞよろしくお願いいたします。 なお、時節柄、会議時間の短縮にご協力いただけますと幸いです。 簡単ではございますが、これで私のあいさつに代えさせていただきます。</p> <p>(後藤企画政策課長) ありがとうございました。それでは、本日の会議の出席状況について、ご報告します。 本日の欠席委員は、第1号委員の佐藤委員と、第4号委員で愛知県尾張建設事務所維持管理課長の安井委員です。 続いて、人事異動等により本会議から新たにご参画いただきます委員をご紹介します。 まず一人目は、第4号委員で愛知県警察本部西枇杷島警察署交通課長の小川元嗣委員です。 二人目は、第5号委員でつばめユニオン委員長の毛利陽介委員です。 また、他の公務のため、第4号委員で愛知県都市整備局交通対策課主幹の渡邊委員におかれましては児玉様に、第5号委員で愛知県バス協会専務理事の小林委員におかれましては栗木様に、代理でご出席いただいております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございます。 当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言にあたっては、次の2点についてご協力をお願いいたします。 まず1点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手の上、会長の指名を</p>	

受けてください。

2点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいてからご発言くださいますよう、お願いいたします。

また、本日は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会議の傍聴を中止とさせていただきます。また、座席につきましても、一人一人の間を広くとらせていただいておりますが、ご了承ください。

なお、委員の皆様には、マスクの持参・着用にご協力をお願いしたところですが、事務局におきましても、マスクを着用させていただきます。

それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。

## 2 議事〔報告事項〕レンタサイクル事業の実施状況について

(前田会長)

それでは、ここからは私のほうで会議の取り回しをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずはじめに、会議録の署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席の順に加藤委員と鬼頭委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が1件、協議事項が3件です。

まずは次第の順に「報告事項」についての議事を進めます。

該当資料について事務局から説明してください。

(次森企画政策課主事)

【資料1を説明】

(前田会長)

ありがとうございます。

ただいま、事務局から報告がございました。ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(加藤副会長)

レンタサイクルについては、産業課の所管になるということで、交通政策というよりも、観光だとかそういった位置付けになるということですね。清須の現状としては、それで適切なのかなと思います。

以前も、名古屋の自転車協会の話をしましたが、今、自転車が見直されているところで、国のほうもこれから色々と力を入れてやっていこうとしています。ただ、自転車は歩道を走ったらいいのか車道を走ったらいいのか分からないとか、優先の話だとか、駐輪場の話だとか、これからよく考えていかなくちゃいけないことも多くあります。

清須は道が狭いので、自転車が車と一緒に走ると危険ですが、これから車の利用を減らしていかなくちゃいけない時代なので、そういった中で、自転車に関する事業はどのように進めていくべきなのかというのは、都市

計画や都市政策の中で重要になってくると思います。

とりあえず、清須は観光の位置付けでやっていくということですが、今お話ししたような議論がこれから出てくるというのは、心に留めておいてほしいなと思います。

(前田会長)

ありがとうございます。委員さん、ほかによろしいですか。  
それでは、報告事項については、これで終了します。

## 2 議事〔協議事項〕(1) 清須市地域公共交通計画(案)について

(前田会長)

引き続き、「協議事項」に関する議事に移ります。

まずは次第の順に(1)「清須市地域公共交通計画(案)について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(次森企画政策課主事)

【資料2～6を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(上井委員)

愛知運輸支局の上井です。意見といたしますか、感想です。

計画の策定について、清須市はほぼ自前でやられたということで、他の市町村ですと、コンサルに委託するところも多い中で、色々ご苦労もあったかと思いますが、よくまとまっているなと思います。また、資料6のように、概要も作っていただきまして、大変分かりやすくなっています。

来年度に関しましては、活性化再生法と道路運送法の法改正が予定されています。計画についても、数値的な目標を求められる形になっていくと思います。そこについては、また改正の中身を見ながら、例えば中間見直しをするだとか、そういった対応も検討いただけたらと思います。

(前田会長)

ありがとうございます。その他、委員さんから何かありましたら、どんなご意見でも結構ですので、よろしくをお願いします。

(加藤副会長)

パブコメは、意見を出す人が少人数だと、しっかり読んでもらえてありがたいですね。たくさんの方が出すと、こんなに読んでもらえて市の対応まで示してもらえるということはなかなかないですから。

ただ、少し気になった点がありまして、パブコメの中にも出てきた収支率の話です。これは、単純に見ると清須が低いように感じるのかもしれない

せん。ただ、清須のまちとしての性質を考えたときに、鉄道駅が既に9個もあり、それから、狭いところに鉄道だけでなく高速道路とか国道とか色んなものが走っていて、市内で動くことがむしろ難しいという問題があります。その上、市内は狭い道ばかりで、踏切だってたくさんあります。

だから、あしがるバスの最初のルートを考える時も、踏切をなるべく通らないとか、そういうことから考えなくちゃいけなかったのも、非常に大変でした。今も基本的にはそういう方針の中で、どうやって市内の色々なところに行けるようにするかというのを考えると今のルートになったということで、試行錯誤はまだ続いているような状態です。

とても時間のかかる運行なので、平均速度はおそらく10キロも出ていないですね。そうすると、当然人件費についても、一人が長い時間拘束されるのに、少ない本数しか運行できません。しかも市内を細かく迂回したようなルートで時間がかかるので、それで家の近くを通過してくれて都合が良い人もいますが、早く目的地に行きたい人にとっては全然良いことがなくて、効率が悪くなるのは宿命です。なので、そう考えたときに、以前は収支率は1桁台だったので、よく上げてきたなと思います。

他の市町村ですと、もっと効率良く走っていたりとか、あるいは、もともと鉄道やバスがないところにコミュニティバスが走っていて、利用が多くなりやすいところもあります。例えば豊山とか東浦とか、僕が関わっているところだとそういうところは、路線バスが全然なくて、鉄道もなくて、ここにコミュニティバスを走らせたなら乗るよねというところを走らせています。そういうところと清須とではだいぶ状況が違うので、それを同列に並べて収支率が低いとか言われるのは、少し違うかなと思います。

私は、前回の会議が終わった後、湯吉郎まであしがるバスで行きました。歩いて行けなくもないですが、やっぱりお年寄りとか、新川住宅あたりから、あるいはこちらの方面から行く人にとっては、使えるバスじゃないかなと思います。以前だと、あしがるバスに乗って行くというのは自分の中でもなかなか考えることができませんでしたでしたが、今は1時間に1本、西行きと東行きが交互に通るようになったので、これなら行ってもいいかなと思います。そういったことも踏まえて、これからの運行について考えていかなくちゃいけないのかなと思います。

そんな中で、今回の計画ができました。この計画は、令和2年から6年までの5年間の計画ですね。ちょうど先週、豊山で同じ会議をやったのですが、会議の最後に、市民委員さんが、バスにすごく経費がかかっているという新聞記事を見て、このタウンバスがなくなるんじゃないかと心配しています、なくさないでくださいとおっしゃいました。いえ、そうじゃないですと。今日計画を策定したから、これから5年間はちゃんとやるということ言ってるんだから、心配しなくていいよ、そんなこと心配してるんだしたら、もっとみんなに向けて、たくさん乗るように言ってくださいよというふうに言いました。

今日も同じことで、この計画によって、もちろん、今後計画の見直しをしなくちゃいけないことも出てくるかと思いますが、ちゃんと5年間はやっていくという宣言をしていることになります。だけど、たくさんの方に乗っていただかないと、次の5年とか、あるいは、途中でこんなもの意味がないとなるかもしれないので、そうならないように、あるいは、せつ

かく走ってるなら生かしていこうねということで、この後の議題にも入っていきます。

そういうことを、今この会議に出ておられる方にはご理解いただいていると思いますが、普通に暮らしている方々はそんなことまで考えていません。パブコメで収支率についてのご指摘もありましたし、この会議で、あるいは、住民の皆さんと話をしたときにも、普段からあしがるバスを使っていなければ、あるいは、使わなくても困らないんだったら、まあなんかやってるけど、なるべくお金使わないでやってねとか、私が見えるようにしてねとか、そういうことを思うに決まっています。何とかしてそういう方々に少しでも分かっていたらいいようにしていかなきゃいけないというのは間違いありません。この計画には、そういったことを書いてありますが、また何か思いついたことがあればどんどん付け加えていけばいいかなと思っています。そのためにこの会議があります。この会議の役割については、計画の一番最後に書いてありますので、それも見ただければと思います。

あと、上井さんがさっきおっしゃった法改正については、私も2年くらいずっと関わってやってきて、2月7日に法案が提出されました。現在審議中でして、まず予算案が通らないといけません。改正については順調に審議が進んでいると聞いています。順調に行けば10月1日施行ということで、成立するかどうかは分かりませんが、その期日を目指しています。

この計画は、それを先取りしたような内容にもしてありますが、法律がどうというのは関係なくて、清須としては、地域交通会議も全国に先駆けて作りましたし、コミュニティバスも、これは平成7年に武蔵野で出てきたのが最初なんです。清須は平成18年に運行を開始していて、決して早くもないですが、遅いわけでもなくてやってきました。それだけ積み上げてきたものがありますので、それを継承してより発達させていくという話かなと思います。

(前田会長)

ありがとうございます。委員さんから、他に何かご質問等ありましたらお願いします。

(鬼頭委員)

鬼頭です。私も感想みたいになります。先ほど加藤先生がおっしゃった収支率のことについては、当然だと思います。むしろ、足りない部分を税金でカバーするというのがこのまちの政策なんだと、行政の担当者の方にははっきり認識してほしいです。

この会議の趣旨からは少しずれてしまっていますが、清須というまちを、いわばエコタウンのようなものにする、そういう将来的な長いビジョンを持って取り組んでほしいです。そのために、例えば、自家用車の規制をして、その代わりにコミュニティバスをフィーダーのように色々と走らせるとか、古い町並みがたくさん残っていますので、これを観光資源にするためにも、狭い道を両方向でなく一歩通行にしてしまおうとか、そうやってまちを保存しながら、人々を呼び込んでいくような、長いビジョンを立てて

ほしいなと思っています。差し当たって、例えば、市の職員の方々全員が自家用車の通勤を禁止するとか、そういった政策をやってほしいです。

人口構成を見ると、このまちは比較的若い方々が多いんです。その人たちが、将来的にこのまちから別のまちに移ってしまうことを防ぐために、永住してもらうために、将来にわたって年をとってからも住みやすいまちを作っていくという、そういうビジョンを持って、その中であしがるバスを位置付けていってほしいなと思います。

収支の問題に関しては色々と言ってくる人がいると思います。市場原理からすれば当然批判されるでしょうけど、例えば一宮にしても杉並区にしても、コミュニティバスは1乗車200円なんです。さらに、車両も、ここでいうサクラルートのようなサイズかそれ以上のサイズの車を使っていて、立ち席もあります。それとあしがるバスのオレンジルートやグリーンルートのようなハイエースの車両とは違いますから、単純に収支でどうのこうのというのは場違いな論点だと思います。

このことから、市の方々には、長期的に、このまちをどうしていくつもりなのか、どうしたいのか、という大きなビジョンを持って、その上でバスを位置付けてほしいです。

もう一つ、少し感覚が違って申し訳ないのですが、鉄道についてはもう少し利便性を高めるべきだということを以前もお話しました。例えば、今、名鉄の高架化を進めていますが、祖父江街道との交差点にある踏切は非常に渋滞が激しく、事故も起きています。高架化によってそれを解消するので非常に良いことだと思いますが、それに加えて、あのあたりに駅を一つ作っていただきたいです。

もう一つは、JR清洲駅についてです。西口に改札を作ることによって、市民の利便性が増します。できるだけ車を使わないで移動できるような、そういったまちづくりをするためには是非必要なのですが、ここで引っかかってくるのが、稲沢市との協議の問題なんです。

そのあたりのことも是非市のほうに取り組んでほしいですし、特に先ほど言った名鉄の駅の新設というのは、場合によっては市が相当量のお金を払ってでもやる価値があるのではないかなと思っています。

それから、あのあたりは土地が余っているところがたくさんあるので、JR清洲駅もそうですが、あのあたりを市の都市計画として再開発していくのがいいのではないかと思います。

(前田会長)

ありがとうございました。今、委員さんからご意見をいただきましたので、今後の運営に生かしていただくようよろしくお願いします。

他に委員さん、よろしいでしょうか。

ご質問も無いようですので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、事務局案のとおりご承認いただくということによろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（１）を終わります。

## 2 議事〔協議事項〕（２）令和２年度コミュニティバスの利用促進施策実施計画（案）について

（前田会長）

続きまして、（２）「令和２年度コミュニティバスの利用促進施策実施計画（案）について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

（次森企画政策課主事）

【資料７を説明】

（前田会長）

それでは、この協議事項について、ご意見、ご質問等がありましたら挙手をお願いします。

（加藤副会長）

他の自治体の公共交通会議ですと、観光協会とか商工会とか、そういった団体の代表が入っていて、こういう会議をやると、うちでもこういうイベントがあるのでここで何かやりましょうかみたいな意見が出てくる場合があります。

あるいは、これはちょっと大がかりですけど、例えば高山や鳥羽では、バスまつりとか公共交通まつりとかを開催して、そこに消防車とか警察車両とか色々な車を出して皆さんに来てもらって、交通や車に親しんでもらったり、そこで乗り方教室をやって公共交通について学んでいただくということをやっているところもあります。

清須の場合だと、どうしても、そういうメンバーが委員に入っていないので、事務局に任せっきりになってしまうのが特徴なんですけど、そういう自治体もあるんだというのを覚えていてほしいと思います。

あと、当然、地元の皆さんは、コネとかツテとか色々あると思うので、そういうところに、あしがるバスを使って何かできないかみたいなことを言っただけでいいかなと思います。市役所だけでやっているとなかなか限界がありますから。

私、去年の秋に鳥取へ出張したんですが、そのときは、商工会議所が主催して、市役所を巻き込んで公共交通のお祭りをやっていました。ちょうどあれは、鳥取市役所が移転オープンした一番最初のイベントとしてやっていて、市役所のお披露目にもなったし、駐車場にバスがざっと置かれて、そこに露店も出て、というとても大きなイベントでした。商工会議所の青年部がそこらじゅうで色々なイベントをやっている中の大賞の優秀賞を受賞したと言っていました。最初はそんなこと考えてもいなかったんですが、結果的には盛り上がって大きなイベントになったようです。

最初から大きいことをやろうなんて考えなくていいので、もっとみなさんにバスに乗っていただくために何かできないかというのを、身近なところから呼びかけていくといいかなと思います。



(前田会長)

ありがとうございます。他に委員さん、ご質問よろしいですか。

(渡邊委員 (代理))

今の加藤先生のご発言に補足をさせていただきますと、愛知県内で、岡崎市が、公共交通に親しむ日ということで、市民イベントをやっています。地元の名鉄バスなどに協力していただいて、色々と公共交通の利用促進、周知に取り組まれています。

あともうひとつ、岡崎市の取組で面白いなと思ったのが、岡崎市の周辺の市町村のコミュニティバスのバスマップを岡崎市のイベントで配布していたことです。すごく良い取組だなと思いました。

清須市ですと、近隣で言えば稲沢市、一宮市、あま市など、それぞれコミュニティバスが走っているので、そういった近隣市町と連携していただいて、少しでも周知していただければと思います。

(前田会長)

ありがとうございます。他に、委員さんよろしいですか。

それでは、ご質問もないようですので、ここでお諮りします。

本件に関して、ご承認いただくということで、よろしいでしょうか。

[異議なしの声]

それでは、これで協議事項の議題(2)を終わります。

## 2 議事〔協議事項〕(3) 令和2年度清須市地域公共交通会議スケジュール(案)について

(前田会長)

続きまして、(3)「令和2年度清須市地域公共交通会議スケジュール(案)について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(次森企画政策課主事)

【資料8について説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見、ご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(鬼頭委員)

鬼頭です。バスの乗り方教室というのが一番最初に書いてありますが、こういうものは、是非やっていただきたいです。去年話題になりましたが、子供たちが公衆電話の使い方が分からなくて、そのために、何かあったときに公衆電話から親に連絡がとれず、大人たちが驚いたということがあり

ました。

また、今ははっきり覚えていないんですが、ある大学で、子供たちに電車の乗り方について聞いたんですね。すると、東京の子供たちはほとんど全員が乗り方を知っていましたが、地方都市の子供たちは全く分かりませんでした。電車に乗る、あるいはバスに自分で乗ることができるかできないかというのは、社会性においての違いが出てきます。それだけでなく、諸個人が、私権という、私の権利、あるいは私のテリトリーというものを考えるときに、自家用車の場合は車の中全体が私的世界ですから、公共性に配慮することがないわけです。公共交通機関を使うことによって公共性を身につけていくわけですから、そういう観点からも、教育委員会なんかとも連携しながら取り組んでいただきたいと思います。以上です。

(前田会長)

ありがとうございます。その他に委員さんからご意見はよろしいですか。

ご質問もないようですので、ここでお諮りします。

本件に関して、事務局案でご承認いただくということで、よろしいでしょうか。

[異議なしの声]

それでは、これで協議事項の議題(3)を終わります。

### 3 その他

(前田会長)

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

慎重にご審議いただきまして、大変ありがとうございます。

ここからは、次第の「3 その他」に移ります。

事務局から報告事項等がありましたらお願いします。

(次森企画政策課主事)

本日は、慎重にご審議いただきありがとうございます。

事務局から3点ご報告をさせていただきます。

はじめに、本日の協議事項(1)でご承認いただきました「清須市地域公共交通計画(案)」につきましても、概要版とあわせて、策定、公表の事務を進めてまいります。

策定に向けて長期に亘り多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

確定版につきましても、後日皆様の元へお届けしたいと考えております。それと同時に、市ホームページ等で公表させていただきます。

二点目ですが、参考資料1「令和元年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について」をご覧ください。

前回会議で、「令和元年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)

について」を議題とさせていただき、あしがるバスの利用者数（1便あたり）等の目標に対する達成状況や、「清須市地域公共交通計画」の策定に係る取組などを記載して国土交通省に提出いたしました。

中部運輸局長よりその二次評価結果についての通知がありましたので、ここで委員の皆様と共有させていただきます。

参考資料1の2枚目をご覧ください。

「評価できる取組」については、「利用者数が大幅に増加していることは評価します。また、市民意見交換会を実施し、これらを基にした公共交通網計画の更新を行っていることが確認できました。」という評価をいただきました。

また、「期待する取組」については、「次期公共交通計画を推進し、鉄道網の活用、利用しやすい公共交通に向けた環境整備、関係者のより一層の連携を期待します。」とのコメントをいただきました。

清須市地域公共交通会議においては、この評価結果をふまえ、「清須市地域公共交通計画」の推進や次年度以降の「清須市生活交通確保維持改善計画」の策定等に取り組みます。

続いて3点目ですが、参考資料2「新型コロナウイルス感染症への対応について」をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「きよす あしがるバス」の運行において実施している対応を共有させていただきます。

「きよす あしがるバス」では、予防対策として、

- ・乗務員のマスク着用
- ・乗務員の乗車前の手指消毒
- ・終便後や休憩時間等を利用した車内のアルコール消毒の実施
- ・車内へのアルコール消毒液の設置

を実施しています。

事務局からは以上です。

（前田会長）

ありがとうございました。最後に、この他のことで、何か委員の皆様からございますか。

（鬼頭委員）

鬼頭です。たいしたことではないんですが、サクラルートバスと、他のルートもだったかと思いますが、車両が更新されましたよね。サクラルートは今までのミッション車からオートマ車に変わって、走り方の癖がなくなったことで、高齢者が安心して乗れるようになりました。とても良いことだと思いました。以上です。

（後藤企画政策課長）

今、鬼頭委員からお話がありましたが、実は、先月から今月にかけて、サクラルート、オレンジルート、グリーンルートの車両更新を行いました。グリーンルートとオレンジルートについては、もともと乗車定員が運転手含め9名だったところが、2名増えて、11名になりました。また、色々ご要望をいただいた中で、ブルールートを含め、4車両とも天井をルー

トの色で塗ったことによって、非常に認識しやすくなったかなと思います。

今、サクラがミッション車からオートマ車に変わって非常に乗り心地が良くなったというお褒めの言葉をいただいておりますので、今後も、運行事業者であるつばめ自動車株式会社と協力しながら運行していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。報告は以上です。

(前田会長)

ありがとうございます。他によろしいですか。

#### 4 閉会

(前田会長)

それでは、これもちまして、令和元年度第4回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3213
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 加藤 榮子

署名委員 鬼頭 恒雄